

英語科学習指導案

授業者 和歌山市立城東中学校 酒井恵美

1. 日 時 平成25年6月12日(水) 第5限 (14:15~15:05)

2. 対 象 第1学年1組 男子18名 女子14名

3. 単 元 NEW HORIZON 1 Unit 3 はじめましてブラウン先生

4. 単元について

(1) 単元感

本単元では、ブラウン先生がさくら、一郎、ベッキー、ケビンの所属するクラスで、初めての授業を行う場面から成っており、ブラウン先生が名前・出身国・好きなものなどについて簡単に自己紹介を行い、その後、子ども達がブラウン先生に様々な質問をする構成になっている。自己紹介やインタビューを通して発展的に一般動詞の文(肯定、疑問、否定)を理解することができる内容である。また、生徒間の相互理解、コミュニケーション意欲を喚起できる内容であると思われる。自己紹介と相手(他者)へのインタビューが話題の中心となっている本単元は、自分のことを相手(他者)に伝え、理解してもらっただけでなく、相手(他者)のことをもっと知りたいという気持ちが質問してみようという意欲を喚起し、そのためにはコミュニケーションスキルが必要であることについても考えさせることができる単元である。

また言語活動としては、一般動詞が初でとなり、コミュニケーションに役立つ様々な一般動詞を数多く学習することで自己表現の幅が広がり、生徒にとっては興味を持って取り組める単元であり、本単元で取り入れられている話題が生徒にとって大変身近なものであることから、学習した表現を用い、ペアやALTとの会話に用いたり、クラスアンケートを実施し、クラスの仲間をさらに知る機会をつくることができ、仲間づくりや実際のコミュニケーション場面を体験できる単元であると考え。ここでは、一般動詞の文に慣れさせ、be動詞との違いを理解させるとともに正しい形で動詞を使い分け、動詞を正しく活用させた文で質問したり答えたりする力を身につけさせたい。

(2) 生徒感

1年1組の生徒達は、授業に対して意欲的であり、どの生徒とも分け隔てなく活動できる。特に話すことや読むことに興味関心が高く、大きな声で発表や教科書の音読をすることができる。

しかし、理解するのに時間がかかる生徒も多いためなかなか学びが定着していない。質問にすぐに反応することができず、習った英語を使って応用することも、まだまだ苦手意識をもっている生徒も多い。本単元では、身近な事柄が話題として取り上げられている、生徒の興味関心はスポーツやゲーム・漫画やパソコンなど様々で多岐にわたる。質問やアンケートにおいても興味関心の幅にかなりの広がりがあると思われるので、指導方法、学び方をしっかりとおさえ、どの生徒も興味をもって学習内容に取り組めるように教材の工夫が必要であると考え。

教材工夫としては、語彙力など知識が少ないため、提示する条件や活動形態の工夫が必要であり、グループワークを基本として、グループで協力しながら、英文を作りあげ、コミュニケーションスキルを身につけ、英文を理解し表現する力を身につけさせたい。また、繰り返し学習することで定着を図り、次への学習意欲へとつなげたい。

(3) 指導観

本校では学校全体で ICT 機器を利用した授業改善に取り組んでおり、英語の授業では、電子黒板やデジタル教材を用いた授業を行っている。生徒はこれまでに、デジタル教科書で学習し、タブレットを使った学習等にも取り組んでいる。電子黒板やタブレットパソコン等 ICT 機器を効果的に使いながら、英語を使つてのコミュニケーション活動の楽しさを生徒に感じさせたい。また、本単元では、会話・インタビュー・アンケートなどを用い、コミュニケーション活動を通して自己表現、他者理解を体験させたい。単元観でも述べたように、多くの生徒とコミュニケーションが取れるようにし、自分を理解してもらうこと、友達（他者）と関わることの楽しさや大切さを体感させ、クラスの仲間をさらに知る機会をつくることで、クラスづくりやコミュニケーション活動を通して、自らの視野をさらに広げてもらいたい。

5. 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

- ・一般動詞を使った肯定文、否定文、疑問文の構造を理解する。
- ・自分が関心のある事柄についての情報を含めた簡単な自己紹介ができる。
- ・簡単なインタビューをしたり、それに答えたりできる。

(2) 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	一般動詞を用いて相手に質問し、それに適切に応答したり、自己表現したりできる。	一般動詞の肯定文、疑問文、否定文を含む情報・内容・質問を正しく理解できる。	一般動詞の肯定文、疑問文、否定文の用法を正しく理解し、日本語との文の構造の違いを理解できる。

6. 指導計画

指導内容	配当時間	単元の評価規準	備考
○一般動詞の肯定文 I like[play]...の文の形・意味・用法を理解する。 ○一般動詞を使って英語で簡単な自己紹介を書く。	1 時間	アイウ	IWB
○一般動詞の疑問文 Do you...?の文とその応答の形・意味・用法を理解する。 ○ペアで簡単なインタビューをする。	2 時間	アイウ	IWB タブレット
○一般動詞の否定文 I do not...の文の形・意味・用法を理解する。 ○否定文を使ってインタビューの練習をする。	1 時間	アイウ	IWB タブレット
○クラスのみみんなにインタビューする質問を考えアンケートを作成し、その結果を英語で表現する。	2 時間	アイウ	IWB タブレット
○一般動詞の文について復習し、理解を確かめる。	1 時間	アウエ	IWB

7. 本時の展開 (5 / 7)

- 本時の目標

- ・積極的にコミュニケーション活動に参加することができる。(関心・意欲・態度)
- ・クラスの友達にアンケートする質問を考え、英語で表現することができる。(表現)
- ・質問を正しく理解し、答えることができる。(理解)

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の支援及び留意点	評価規準	評価方法	備考
10分	導入挨拶 復習	挨拶をする。 Good afternoon, Ms. Sakai. I'm fine, thank you. And you? 高速インプットをする。 (ペアで既習事項の対話を練習する) フラッシュカードで単語の復習をする。 ピクチャーカードで文の応答の復習をする。	挨拶をする。 机間巡視をし、つまづいている生徒を支援する。 顔をあげて大きな声で練習するように促す。 英語での応答がスムーズにできるようにジェスチャーを使いながら英語で質問をする。	ア	活動の観察	IWB
	学習課題提示	本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">クラスのみんなにインタビューするアンケートを作ろう。</div>				
25分	展開 見本 提示 グループワーク	Marnavigation を使って教師の質問に答える。 グループで質問を10個考えてワークシートに記入する。	生徒に質問し、Marnavigation を使って質問に答えるように指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">Do you like English? Do you have a dog?</div> 今までに習った色々な動詞を使った文を考えるように促す。 机間指導をする。	アイウ	活動の観察	IWB タブレット
12分	発表	各グループ1つずつ作った質問を発表し、他の生徒はその質問にMarnavigation を使って答える。	大きな声で発表するように促す。	アイウ	活動の観察	IWB タブレット
3分	まとめ 挨拶	本時の目標を達成できたか振り返る。 挨拶をする。	できるようになったことを振り返りながら生徒に達成感・満足感を感じさせる。			